

東京都立武蔵高等学校  
同窓会事務所  
〒180-0022  
武蔵野市境1-3-4  
エーブル武蔵境203  
Tel & Fax 0422-27-7571



50  
2015. 5.10



彩泥糸伏せ花器(さいでいいとふせかき) 大きさ 34cm×34cm×52cm 川口 由美子(旧姓 小畑)

## 今年のホームカミングディは27回生&47回生

### 今年の同窓会総会・懇親会

日時：6月7日(日)  
受付開始12時30分 総会13時30分より  
場所：武蔵野スイングホール(武蔵境駅北口から徒歩2分)  
アトラクション：宮之上貴昭・山口雄三 ギターとベース  
共演  
懇親会：15時から レインボーサロン  
会費：一般会員 2,000円  
学生会員 1,000円  
新卒会員 無料  
出欠：ご出席の方は同封のハガキでお知らせください。

### 平成26年度卒業生同窓会新幹事



卒業生総数 197名

# 「中・高一貫校となった母校武蔵～ これからも多様な人材を輩出してほしい」

東京都立武蔵高等学校同窓会会長 土屋 正忠



私達の母校武蔵高校は自由な校風に支えられて各界で活躍する多様な人材を社会に送り出してきた。政治・経済・司法・医療・学会・教育界・マスコミ・芸術文化・農業・各種専門業など。宗教の分野でも鎌倉の建長寺の宗務総長も母校の出身だ。また大きな役割である家庭の専業主婦として、良識派市民の中核として地域社会の担い手となり世論形成に役立っている人々も多い。高校時代を振り返ると個性豊かな愉快的な仲間が大勢いた。中高一貫校となって文化祭や体育祭など折りにふれて母校を訪ねると、学生たちが礼儀正しく積極的で聡明で、私達の時代よりたぶん偏差値も高く優等生が多い印象だ。後輩たちの進路も首都圏を中心にいわゆる有名校が多く進学の実績も上々だ。しかし、私達の時代は帯広畜産大学や信州大学など、地方でキラリと光る大学に進学する卒業生も大勢いたし、卒業して直ちに実業の世界に入る人達もいた。多様な人材がいてこそ社会の安定と発展につながるのだ。校長先生以下、複眼の思想をもった人材を育てよう今まで以上に努力して欲しい。母校武蔵が、伝統である自由な校風を大切にそしてさらに発展することを心からお祈りする。卒業生の皆様、6月7日(日)同窓会総会でお目にかかりましょう。

## 事務所移転・ホームページ改装のお知らせ

### ・新同窓会事務所

〒180-0022

武蔵野市境1-3-4 エーブル武蔵境203号室

TEL 0422-27-7571

## 今年の同窓会は6月7日 武蔵野スイングホールに全員集合！

今年の同窓会・懇親会は、武蔵野スイングホール・レインボーサロンで開催いたします。

今年の総会では、2014年度事業・決算報告、2015年度事業計画・予算案などのほか、2年に一度行われる役員改選など、重要な議案が審議されます。さらに、財政問題等検討委員会の進捗状況も報告される予定です。

毎年、会員の皆さんに喜んでいただいている総会後のアトラクションには、3ページでご紹介している通り、宮之上貴昭さんと山口雄三さん(共に23回生)の華麗な演奏をお楽しみいただけます。

懇親会では、27回生、47回生のホームカミングデイも開かれます。同期会・クラス会の皆さんにお声をかけて、ぜひご参加ください。

## 2014年度同窓会・懇親会報告

2014年6月1日、武蔵野スイングホールを会場に、2014年度(第67回)同窓会総会が開催されました。[ ]の総合司会で始まった総会は、議長に選ばれた [ ]によって進められ、「13年度事業・会計報告」「14年度事業計画・予算案」は満場一致で承認・可決されました。

アトラクションとして登場したのは世界に羽ばたくピアニスト 福間洸太郎さん(53回生D組)。演奏が始

まると、それまで張りつめていた会場の雰囲気は一変、華麗な演奏に、皆、陶醉状態で聞きほれていました。

懇親会は会場を11階のレインボーサロンに移して行われました。26回生と46回生のホームカミングディもあり、会場は移動しにくいほどの混雑ぶりでしたが、あちらこちらに再会を喜び合う笑顔と歓声が飛び交っていました。

総会・懇親会の写真は13ページをご覧ください。

### 今年のアトラクション

2015年総会のアトラクションは、23回生のギタリスト・宮之上貴昭さんとベーシスト・山口雄三さんが、何年ぶりかのコンビを組んで出演していただきます。宮之上さんは以前、北村英治氏のジャズバンドのメンバーで、現在は自身のバンドを組み、世界的なギタリストとして活躍中。また山口雄三さんは、宮之上さんのバンドでプロデビュー後、現在まで北村英治氏のバンドのメンバーとして、活動していっしょいます。

当日は、「ベサメムーチョ」、「黒いオルフェ」、「ストレンジジャー・イン・パラダイス」、「煙が目にしみる」などの演奏が予定されています。さて、あなたにとって、懐かしい曲?それとも新鮮に感じられる曲?お楽しみに……



#### 宮之上 貴昭(よしあき)氏 プロフィール:

米軍横田基地の中の「N・C・O」クラブで、ジョー・デイビス(org)、ジェリー・エディ(ds)のトリオ「ニュー・グループ」で3年間演奏し、1977年に渡米。ニューヨークで武者修業の後帰国し、来日中だった今は亡き天才ドラマー、フィリー・ジョー・ジョーンズをゲストに「ソング・フォー・ウェス(キングレコード)」をリリースしメジャーデビュー。現在は自身のグループを率いて都内のライブハウスや全国でのコンサート、テレビやラジオの出演をはじめ、海外のジャズ・フェスティバルやコンサートで演奏活動を続けている。

ピックを一切用いず、親指を中心とする独特の宮之上氏の奏法は、ウェス・モンゴメリーの流れの中であってさらに発展させ、着々と自己のスタイルを確立している。比類のないテクニック、歌心とその音楽性に、全国の熱狂的な信奉者は数多く、ジャズ誌の読者人気投票ギター部門では30年以上、常にトップクラスにランクされている、我が国を代表するギターリスト。

【宮之上 貴昭さんOfficial Web Site】 <http://www.miyanoue.net/>



#### 山口 雄三氏プロフィール:ベーシスト(ウッドベース、エレクトリックベース)

1952年東京出身、東京理科大学卒業後、プロデビュー。

宮之上貴昭氏のグループのレギュラーメンバーとして、全国ツアー、海外音楽フェスティバル出演などの活動。八城一夫(ピアノ)トリオ、大井貴司(ヴィブラフォン)のグループ、リチャード・バイン(アルトサクソ、ボーカル)カルテットでも長年レギュラーメンバーを務める。多くのセッション(ライブ、テレビ、ラジオ、レコーディング)に参加。近年はライブハウス、ホテルなどのほか、北村英治(クラリネット)スーパーカルテットで、ジャズクラブ、各地のコンサートに出演している。

【山口雄三さん(北村英治氏オフィシャルサイトホームページより)】

<http://www.eijikitamura.com/profile-b.html>

# クラス・同期会・クラブOB会だより

## バドミントン部 第100回OB会記念パーティ

平成22年卒

私達バドミントン部OB会は歴史が古く、昭和30年代後半から活動を続けています。

また、OB・OGと現役生が交流する「OB杯」が年2回、OB・OGだけで集まり交流する「高見杯」も年2回実施しています。

昨年11月22日(土)、OB杯が第100回と大きな節目を迎えるのに際して、府中にて記念パーティを開催しました。当日は昭和32年卒の先輩から平成26年卒の後輩まで、総勢108人ものOB・OGのご参列を賜りました。

パーティでは諸先輩方から現役時代の思い出話やOB会設立時のお話をさせていただくなど、世代を超えた交流が行われました。

今後もOB会は、バドミントン部OB・OGをつなぐ架け橋であり続けます。卒業後、OB杯や高見杯にご参加されたことがない方もぜひ遊びに来てください。きっと当時の楽しかった思い出がよみがえるはずです。

ホームページ <http://www.musashi-badminton.net/>



## 卓球部OB会「同球会」50周年祝賀会と近況報告

31回生C組

「同球会」は昭和36年に発足し、結成50周年を迎えました。その祝賀会を2011年4月17日に武蔵野スイングホール「レインボーサロン」にて開催しました。当日の様子と会の近況を報告します。

祝賀会には、元顧問の中根先生と都下卓球連盟で会を支援頂いた方々を招き、卓球部OB・OGを含めて52人の方の出席を頂きました。

同球会は、卓球部OB・OGを中心に、以下の活動を行っています。

- ①毎週土曜日夕方の練習
- ②市町村卓球連盟リーグ戦への参戦

- ③東京卓球連盟リーグ戦への参戦
- ④2月のベテラン大会への参加
- ⑤5月の河口湖合宿
- ⑥秋の箱根合宿

特に、毎週土曜日には三鷹駅近くのITS卓球場を借りて練習しています。

同球会の練習に参加、あるいは練習後の懇親会だけでも参加希望の方は、以下のホームページから連絡いただくと幸いです。

<http://www//homepage3.nifty.com/itani-m/dq/>



## 古希の祝い

14回生同期会

2014年4月5日(土)、武蔵野スイングホール「レインボーサロン」で4回目となる14回生同期会を開催して一同で古希を祝いました。

卒業から52年を経て、あの懐かしい武蔵境に77人の同期生が顔を合わせました。

会場では70歳を過ぎても続けている三味線、篠笛の演奏や絵画、書、手芸、出版本の展示を行って一同元気をもらいました。

また、私達が卒業直前の1962年1月20日未明に起きた火災で2階建木造校舎8教室他を全焼した事故があり、同期生が撮影した火災跡の写真や当時の新聞記事の展示も行い、感慨深い思いをしました。

最後にはフォークダンスと校歌斉唱を行い、高校生



## お元気ですか 教員・会員の消息

### 石澤慶子先生卒寿のお祝い

2014年6月15日、熱海のレストランで石澤慶子先生の卒寿のお祝いを、武蔵高校17期C組の高校卒業50周年のクラス会を兼ねて開催しました。

熱海にお住まいの石澤先生も90歳とはとても思えない元気なお姿でお祝いの会に参加していただきました。

当日参加者は21名、元気に集うことができました。先生より全員に以下のような文面の自筆での葉をいただきました。

「卒寿の祝宴有難うございます 本当にうれしうございます 感謝しています

武蔵野の学舎に入学してからの長い年月絆の深さもしみじみ感じます



これからもお互いに助け合い楽しみ合って生きたいものですね」

参加したメンバーも先生の元気なパワーをいただき、これからも頑張らなければいけないなと思いながらお祝いの会を終了いたしました。

(17回C組 )

### 今泉郁夫先生の「石澤先生訪問記」紹介



われらの先輩にして武蔵高校の教員でもあった今泉先生。熱海桜が満開のころ、元同僚の吉本(高島)俊恵先生とともに石澤先生を訪問なさいました。今泉先生が1年に入学したときの

国語の担当が石澤先生だったそうです。その薫陶のおかげで後に同じ国語科の同僚教諭となったわけですから、お二人のお付き合いは本当に長いのです。

熱海での話題の中心も当然ながら昔の武蔵や先生方のこと。出征経歴をもつ生物の関塚先生や山梨先生、数学の田原先生、音楽の今井先生などから伺った戦時体験、また体育の高橋先生や数学の三神先生をはじめとする個性豊かな先生方のことどもを石澤先生は懐かしそうに回想されたようです。

今泉先生の名文による訪問記全文は同窓会ホームページでご覧になれます。ぜひアクセスしてみてください。(編集部)

# 昨日・今日— 近頃の私 …

高校3回生(昭和26年3月卒) C組

## 府立十三高女から都立武蔵高女、 そして、都立武蔵高校のころ

昭和二十年三月十日、東京の下町が大空襲で焦土と化し、多くの犠牲者が出ました。私はその頃、国民小学校を卒業し、四月に東京府立十三高女に入学しました。

昭和二十年五月二十五日、鉛筆の配給があり、明日皆に配るため、その日家に持ち帰りましたが、夜半に警報が鳴り、B29の爆撃があったので鉛筆を持って避難しました。爆撃が収まったあと、夜が明ければ一面の焼野原。東中野の家のあたりから東の方、新宿方面は黒く焦げた三越、伊勢丹が見え、その先も民家などはなく、私の家も焼けましたが、貴重な五十本の鉛筆は後日、級友に手渡すことができました。

夏休み中の八月十五日、戦争が終わりました。敗戦です。黒いカバーを外した電灯の明るいことにびっくりしました。

九月。疎開していた友達が帰京し、軍需工場で働いていた先輩たちも青梅寮から引き揚げてきました。校舎は爆撃を受けませんでした、あっと言う間に教室は満員になりました。

授業も変わりました。修身、作法、農業はなくなり



グラウンドを耕し、馬鈴薯を収穫



ましたが、松林のあったグラウンドの南側に畑を作り馬鈴薯を植え、校舎北側にあった粗末な急ごしらえのトイレから、肥桶に糞尿を入れて肥担ぎもやりました。皆、文句も言わずよくやったと思います。

制服は、文部省が決めた白い襟のついたヘチマ衿の野暮ったい上着。生地はスフ入りの頼りない物でした。それに、モンペ式のズボン。靴はなかった人が多く、素足に下駄。

清掃の水は井戸しかありませんから、毎日井戸端は大行列です。二階の教室にも汲み上げて雑巾がけをしました。ピカピカの廊下が自慢でした。

ちょっといやな話ですが、頭に「シラミ」がついた人もいました。この頃、電車の中で貰うことが多く、石鹸も洗濯洗剤も大変な貴重品でした。進駐軍の強力殺虫剤DDTの散布が市町村で始まったのもこのころでした。

教科書は、ワラ半紙に印刷したものが配られて、先生の指示に従って折りたたみ、切れ目を入れて糸で綴じて使いました。新しい教科書が来るまで、こんなことを何回もやりました。

でも、授業は活気に満ちていました。選択で、縫田先生のフランス語、瀬川先生のドイツ語などもありました。これは、もう少し後だったかもしれません。

やがて新しい校歌が出来上がり、音楽の林裕次先生がテナーで歌ってお披露目してくれました。今歌っているあの校歌です。素晴らしい出来で皆満足でした。その経緯などは会報31号に石沢慶子先生からの聞き書きが載っていますので、興味のある方はご覧ください。

学校の外では三鷹事件などがありました。それなりに世の中も落ち着いて、遠足もありました。浅川(現高尾)駅から相模湖まで峠を越えたり、箱根の十国峠も歩きました。峠を渡る風の心地よさは格別でした。

クラブ活動は、当時「班」と言っていましたから、さしずめ「班活」でしょうか。

ソフトボール班では、片桐先生がアンパイアーを務めて下さり、卓球班は、吉田夏先生のご指導で朝早くから、夕方まで遅くまで体育館から玉の音がしていました。

プールもないのに水泳班もありました。高飛び込みの素晴らしいフォームの写真が新聞に掲載されたのは、私たちの学年の [ ] でした。八王子の第四高女や成蹊学園のプールをお借りしての練習だったようです。

体操班は、平均台など運動会では花形で、他にもテニス、バレーボールなどがありました。

理科班は合成醤油作りに挑戦。写真班は暗室作業中心で、生物班は未使用のトイレにこもり、孵卵器や実験道具を置いて使っていました。

社会班は常磐炭鉱などに行き、エレベーターで地底に降り、トロッコに乗って海の底に進みました。思想班は、作家の宮本百合子さん宅を訪問し、感激したことを忘れることができません。弁論班は宮崎謹一郎先生のご指導でした。

美術班は赤城山麓の東大の寮をお借りしての写生会。毎日画板と絵具を持って出かけ、夜は品評会でした。

班とは別に、合唱のグループがあり、「美しき青きドナウ」などを練習していたある日、あの世界的な指揮者、近衛秀麿先生がおいでになり、「国際法」とやらの、非常に動きの少ない指先の動きで合唱を指揮して下さいました。

他にも高女時代の被服班、茶道班、華道班などありましたが、忘れていけないのが演劇班です。クラス対抗の演劇コンクールなどがあり、どんどん演劇勢が勢いを増していました。



1951年3月20日 謝恩会で「白波五人男」

この班の活動メモを送ってくださいましたので、一部ご披露します。

〈前進座が学校を対象に「ベニスの商人」などの巡演を行っていて、それがわが演劇班の活動を刺激。クラス対抗の演劇コンクールが毎年実施された。併設中学の頃の話だ。昭和二十二年、このコンクールで優勝したシュニツラーの戯曲で多摩地区の学校演劇コンクールに参加したが、時間オーバーで幕を下ろされたにもかかわらず、同情票を得たのか3位に入賞して、皆うれし泣き。

運動会の仮装行列では歌舞伎や新派の芝居から題材を拾って常々優勝。謝恩会では歌舞伎狂言 伽羅先代萩の名場面、飯(まま)炊きの場を上演。白波五人男もしっかりやってしまいました。役者がそろっていたのですね。〉

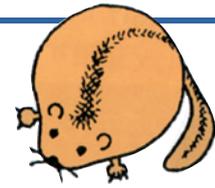
ある日、担任の片桐先生が極東軍事裁判の傍聴券を入手され、1枚だけだったので志津先生が代表で傍聴されました。翌日、先生は裁判の様子を上手にお話して下さいました。

五十名の生徒全員が行かれるわけもなく、その後先生は何回も傍聴券を入手するために行列に並んで下さり、何人かの生徒が傍聴に行きました。まさにプラチナチケットでした。幸運に恵まれた生徒は、市ヶ谷の軍司令部に行き、婦人警官の身体検査も受けて、二階席からの傍聴でした。キーンン検事の姿もよく見えました。昭和の一ページを垣間見た一日でした。

戦争のない、平和な日々を何よりも祈ります。

この原稿は、下記の同窓生にお話を伺ってまとめさせていただきました。御礼申し上げます。

# 武蔵の山小屋……大菩薩ヒュッテ



2014年も個人・クラス会・クラブ活動などでご利用をいただきました



ヒュッテ改修工事はOBがおこないました



ヒュッテに現れた仔鹿



ベランダ解体作業をしたヒュッテ南面



学校・PTA・同窓会に配布したパンフレット

3月にヒュッテを紹介するパンフレットを、学校・PTA・同窓会に配布しました。  
現役の生徒さんや同窓生の、ヒュッテ利用が増えることを期待しています。

## 名称：東京都立武蔵高等学校・附属中学校 大菩薩ヒュッテ

所在地：山梨県甲州市大菩薩峠近く 標高約 1,700 m地点

ご利用について

利用期間：5月連休～11月第1週 原則 土・日 又は 日帰り

利用時間：土曜日 15:00～ 日曜日 12:00まで

利用料金：一人 ¥1,000 (主にマキ、プロパンなどの燃料代)

申込・問い合わせは 山岳部同窓会事務局まで

ヒュッテ URL <http://dhutte.web.fc2.com/index.htm>

☆メールでの申込・問い合わせは件名に「ヒュッテ」と書いてください。

ヒュッテの運営費・経費は同窓会・PTA・利用料・カンパ・山岳部同窓会により賅われています。

# 2014年同窓会総会・懇親会 写真集

華麗な演奏に酔いしれました。

2014年6月1日、武蔵野レインボーホール・レインボーサロンで行われた第67回同窓会総会・懇親会には、懐かしい顔が勢ぞろいしました。世界に羽ばたくピアニスト 福間洸太郎さん(53回生)の華麗な演奏に酔いしれた皆さんは、その余韻に包まれながら懇親会を楽しんでいました。



演奏中の福間洸太郎さん



総会であいさつする土屋会長



受け付けも大忙しでした



若い会員も大勢参加



ホームカミングディの受け付け



未来の同窓会員？



福間さんのCDも完売



福間さんを囲んで皆さん興奮気味

## 表紙によせて ●●●●●●川口 由美子●●17回C組

女子美術短大を卒業してから、陶芸に出会い、その面白さにのめり込んでいきました。当時は、日本各地を自由に行ける環境にいましたので、各地の窯場を訪ねて、焼き物への知識などを深めてまいりました。長く陶芸から離れた生活をしていましたが、子供の手が離れる頃から、再び陶芸を本気でしようと心に決めて、今日に至っています。常に「他者に劣るのは恥ではないが、先年の自分に劣るのは恥である」という言葉を胸に刻んで励んでいます。



川口 由美子さん

### 陶歴

- ・2002年～2004年 青梅の藤本能道工房にて上絵の指導を受ける
- ・2005年 多摩陶友会展に出展、以後毎年出展
- ・2007年 池田満寿夫美術館・没後10年展にて奨励賞
- ・2009年 全陶展入選、以後毎年入選
- ・2011年 陶芸財団展入選
- ・2013年 東日本伝統工芸展入選  
女流陶芸展入選  
東京・ニューヨーク姉妹都市交流陶芸コンテストに入選
- ・2015年 昭島市制施行60周年記念・芸術家三人展に出展  
多摩地区にて個展、全陶展会員、多摩陶友会会員

[www.facebook.com / yumiko.kawaguchi.184](http://www.facebook.com/yumiko.kawaguchi.184)

2015.5./16～31日まで、昭島の家具の博物館にて、私の今迄の集大成のような展示会をして頂けることになりました。40～50点を出品予定です。<http://www.kaguhaku.or.jp/special.htm>

## 平成27年度 武蔵高等学校・附属中学校 異動者名簿

卒業生総数 25,099名 住所不明者・物故者 7,999名